

配達販売店の皆様へ

労働災害を防止しましょう！

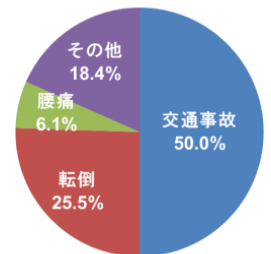
都内の小売業では、広い店舗内でのつまずき、滑りにより転ぶ「転倒」及び大量かつ重い商品の取扱いで筋をちがえる、くじく、ぎっくり腰になる「動作の反動・無理な動作」と呼ばれる災害で全災害の約5割を占めます。

特に新聞販売や通信販売、訪問販売等の店舗を通さず商品の配達販売を行う業態では、作業空間（バックヤード、調理場等）が狭いあるいは未整理、パート・アルバイト比率が高い、配達を行う等の特徴があるため、以下のような災害が発生しやすくなります。

- ⚠ 床にある商品や段の段差等による、つまずき、滑りにより転ぶ。
- ⚠ 無理な姿勢での作業により、筋をちがえる、ぎっくり腰になる。
- ⚠ 配達時に交通事故にあう。

労働災害防止には、危険個所などの「見える化」をはじめとする安全意識の向上、雇い入れ時の安全衛生教育が重要となります。

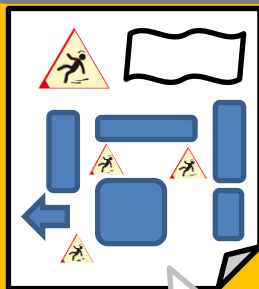
さあ、職場に合った効果的な労働災害防止対策をしてみましょう！



新聞販売業の災害発生状況（H29 東京）



転倒防止対策のポイント



転ポ①

歩きスマホ、大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態での階段の移動はダメ！

転ポ⑤

事務所・倉庫内の段差のある個所や滑りやすい場所などにマーカー、テープなどで「見える化」を！
そして、転倒危険マップを作成し、周知しよう！

転ポ②

作業を行う際は、接地面積が広く滑りにくい靴を！

転ポ③

水や油で床が濡れたらすぐに拭く！

転ポ④

通路、階段、出口に物を置かない！

災害事例

- ケース1 濡れた床の清掃中、足を滑らせ転倒、床面に頭部・胸部を打撲し死亡。（68歳女性）
- ケース2 事務所内のついたてのベースにつまずき転倒、頸椎を骨折し死亡。（62歳男性）



～トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心～

東京労働局・労働基準監督署



腰痛等防止対策のポイント

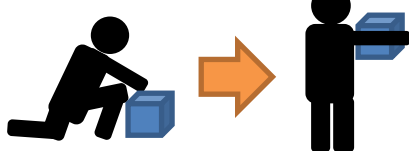
床から荷物を持ち上げる場合は、

片足を少し前に出し**膝を曲げる**！

十分に**腰を下ろす**！

背を**伸ばし**、腰を**捻らず**！

膝を伸ばすように**立つ**！



腰ポ⑤

腰ポ①

1つの荷物は**10kg程度が目安**です。これを超える場合は、2人以上で作業しよう！

腰ポ②

取り扱う荷物の重さがわかるように**重さの「見える化」**を！



腰ポ④

無理な姿勢の作業とならないようにバックヤードは**整理・整頓**！

腰ポ③

移動距離は短くし、**人力での作業は減らそう**！



ケース1 商品の入った段ボールを繰り返し棚に収納し、両手首腱を負傷。休業1ヶ月。(20歳女性)

ケース2 機材を持ち上げた際、予想より重く、急性腰痛を発症。休業3ヶ月。(36歳男性)

災害事例



危 交通事故防止対策のポイント

交ポ⑤

ドライブレコーダー、ヒヤリハット事例など使い、安全運転を**組織的サポート**！

安全衛生教育に役立てる！

交ポ①

自転車でも**ヘルメット**着用！
あご紐をちゃんと締めて！

交ポ④

雨天時のマンホール、積雪、凍結路面は要注意！

交通情報マップを作成し、毎日ドライバーに情報提供！



交ポ②

高視認性ベスト、配達器具に**反射板**、朝夕の**ライト**点灯でもらい事故防止！

交ポ③

交通事故で多いのは「**交差点**」「**すり抜け**」「**追突**」「**往路**」。ゆっくり焦らず、運転する！

ケース1 積雪の折、急ブレーキを行ったためマンホール上でスリップ。休業4ヶ月。(43歳男性)

ケース2 夜明け前、住宅街の交差点で出会い頭にバイクに衝突。休業6ヶ月。(34歳男性)

災害事例

上で使用している「見える化ステッカー」



& 「マーカー」



の活用をぜひ！

東京労働局では、「**Safe Work TOKYO 2018**」を展開しており、小売業・社会福祉施設・飲食店等の労働災害の防止に関する様々な情報を掲載しています。

https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news_topics/topics/2017/9_00002.html

